

熱狂

2025 コンチェルト

真夏のチャイコ3連投!!

[指揮] 飯森範親

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

川久保賜紀

「ヴァイオリン」



佐藤晴真

「チェロ」



「ピアノ」
横山幸雄



世界の3大コンクールを席巻した3人が一挙に!!

チャイコフスキー:

ロココの主題による変奏曲 イ長調 op.33

ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35

ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23



2025 **8.3** (日) 14:00開演 (13:00開場)
S 7,700円 A 6,600円 B 5,500円(税込)

プレイガイド

- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 51719]
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 281-552]

ザ・シンフォニーホール

主催: ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 (火曜定休)
<https://www.symphonyhall.jp>

詳細はこちら



※未就学児のご入場は御遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

熱狂 2025 コンチェルト 真夏のチャイコ3連投!!

チャイコフスキーの抒情味あふれる協奏曲の名作3曲を披露し、大きな話題となった2021年の「熱狂コンチェルト」。あの感動が2025年夏、ザ・シンフォニーホールに帰ってくる!8月3日開催の「熱狂コンチェルト真夏のチャイコ3連投!!」で豪華なソリストの饗宴が実現する。ロココの主題による変奏曲を弾くのは、チェロ界で今もっとも注目の佐藤晴真。続くヴァイオリン協奏曲は、チャイコフスキー国際コンクール最高位の川久保賜紀で、彼女は21年の「熱狂コンチェルト」にも出演した名手だ。そして輝かしい名曲であるピアノ協奏曲第1番でしめくくるのは、日本を代表するヴィルトゥオーゾの横山幸雄。三人の奏者が奏でるチャイコフスキーは、灼熱の大阪にすがすがしい感動をもたらしてくれることだろう。バックを支えるのは飯森範親指揮の日本センチュリー交響楽団。飯森は21年の「熱狂コンチェルト」を指揮する予定だったがコロナ禍でかなわなかっただけに、今回は満を持しての登場だ。

伊藤制子

[指揮] 飯森 範親 *Norichika Iimori, Conductor*

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリン、ミュンヘンで研鑽を積み、これまでにフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコ・フィル、モスクワ放送響等に客演。2001年、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団音楽総監督(GMD)に着任し、日本ツアーも成功に導いた。国内では1994年以来、東京交響楽団と密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を歴任。2014年より日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任、世界でも例の少ないハイドンの交響曲全曲演奏&録音という大プロジェクトを手掛ける(2025年3月退任)。パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

オフィシャル・ホームページ <https://iimori-norichika.com/>



© s.yamamoto



© Yuji Hori

[ヴァイオリン] 川久保 賜紀

Tamaki Kawakubo, Violin

2001年サラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2002年チャイコフスキー国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位受賞。ロサンゼルスに生まれ、幼少時より主要な北米オーケストラと共演するなど、豊富なステージ経験を積む。日本では1997年、チョン・ミョンフン指揮アジア・フィルのソリストとしてデビュー。以後、国内外様々なオーケストラと共演を重ね、高度な技術と作品の品位を尊ぶ深い音楽性に高い評価を得ている。近年は自ら企画するコンサートを行うなど、コンサート・プロデューサーとしての才能も発揮。後進の指導にも積極的に取り組み、2018年より桐朋学園大学院大学(富山校)教授に就任。

公式HP
<https://www.japanarts.co.jp/artist/tamakikawakubo/>



© Seiichi Saito

[チェロ] 佐藤 晴真

Haruma Sato, Cello

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝し、一躍国際的に注目を集めた。18年にはルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞を受賞。第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など受賞多数。国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。23年4月、名門ドイツ・グラモフォンより3枚目のアルバム「歌の翼に〜メンデルスゾーン作品集」がリリースされた。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞、第32回日本製鉄音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰(国際芸術部門)。江副記念リクルート財団第52回奨学生。使用楽器は宗次コレクション貸与のE. ロッカ1903年。



© ZIGEN

[ピアノ] 横山 幸雄

Yukio Yokoyama, Piano

第12回ショパン国際ピアノコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たす。2010年ショパン生誕200年を記念して行われた14時間に及ぶ演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には自らのギネス記録を更新。さらに、ショパンが生涯で作曲した240曲の全ての作品を3日間で演奏するという前人未踏のプロジェクトを成功させDVDとしてリリース。またベートーヴェン生誕250年にあたる2020年には、2日間でベートーヴェンソナタ全曲を演奏する偉業を成し遂げた。2023年は指揮者としてデビューを果たし、教育者、音楽プロデューサーとしても活躍。故中村紘子女史の遺志を引き継ぎ日本パデレフスキ協会会長を務めている。

オフィシャルサイト
<https://yokoyamayukio-official.bitfan.id>



© 井上嘉和

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。 *Japan Century Symphony Orchestra*

1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者(〜2025年3月)、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者(2025年4月より音楽監督就任)を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。2024年12月に楽団創立35周年を迎えた。

オフィシャル・ホームページ <https://jcso.or.jp>